

親潮・混合域における植物プランクトン現存量と基礎生産量の季節変化

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 桑田, 晃 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012403

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



親潮・混合域における 植物プランクトン現存量と基礎生産量の季節変化

混合域海洋環境部

研究の背景・目的

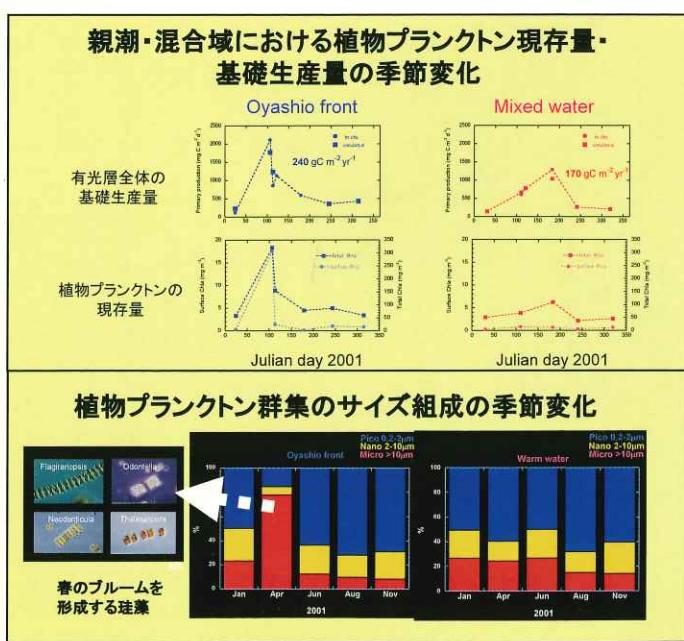
1. 現存量および基礎生産量のデータの多くは、春季ブルーム形成期に限られており、年間のサイクルを把握した例は少ない
2. 2001年より東北水研・混合域海洋環境部で定線集中的観測を実施

研究成果

1. 北海道日高沿岸から三陸沖に至る定線OICEで、2001年度から物理・化学・生物の総合海洋観測を実施
2. 親潮・混合域における植物プランクトン現存量・水平鉛直分布・基礎生産量の季節変化を明らかにした

波及効果

1. 親潮・混合域の生態系を支える植物プランクトン季節変化が明確
2. 生態系における物質の流れの定量化や気候変動に伴う生態系構造の変化への研究展開が進む



まとめ

冬
表層から150m以上の深さ
で鉛直混合。
ピコプランクトンが優占。
現存量少。100m以浅では
ほぼ均一に分布

秋
表層～50m前後で鉛直
混合
ピコプランクトンが優占。
現存量少。混合層内で
ほぼ均一に分布。

春
親潮域：表層～50m付
近で珪藻を主とする大規
模なブルームの形成
混合域：ピコプランクトン
が優占。現存量少。

夏
成層化、水深30m付近に
温度躍層の形成。
貧栄養化。現存量・基礎生
産量の減少
ピコプランクトンによる亞表
層クロロフィル極大の形成。